大富八幡宮　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当社の創建年代は、嘉暦年代（１３２６～１３２９）児島高徳の臣、大富太郎幸範が最も崇敬し、願主となり本社を改築し大宮八幡宮と称した。大富太郎幸範公は児島高徳、今木太郎等と共に船坂に至り三石（現在の備前市）において戦死、遺物を大富村に修め大冨八幡宮の境内末社として若宮神社を創立した。明治４４年１１月１５日、郷社豊原北島神社に合祀されたが昭和２１年１１月１５目に、氏子、崇敬者の熱望により郷社豊原北島神社から分離された。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	08021
神社名	大富八幡宮（オオトミハチマングウ）
通称名	ﾊﾁﾏﾝｻﾏ
旧社格	村社
鎮座地	〒701-4234 瀬戸内市邑久町大富826-1
電話番号	
FAX番号	
駐車場	有　20台
御祭神	譽田別天皇,息長帶姫命,比め大神
御神徳	五穀豊穣，交通安全，家内安全
主な祭典	５月１５日：春祭 １０月第３日曜日：秋祭
宮司宅電話	0869-22-0647
URL	
e-mail	nrajirou1@mx32.tiki.ne.jp
特記事項	
氏子地域	瀬戸内市（邑久町大富）

交通アクセス

JR赤穂線大富駅から西へ４００メートル

検索画面に戻る

© 2016 Okayamaken Jinjacho